

資料2-1

子どもに関する施策推進計画に係るアンケート調査の実施結果について(令和元年度)

1 目的

子どもに関する施策の充実を図るため、子どもたちの生活実態と意識について調査するもの。併せて、第2次射水市子どもに関する施策推進計画の進捗状況を把握する。

2 アンケート調査の実施時期及び対象

(1) 実施時期

令和元年 7 月

(2) 対象

市内の全小学校(15校)の5年生と全中学校(6校)の2年生

(3) 配布・回収方法

各小・中学校を通じ、配布・回収

3 回収状況(問1より)

	配布数	回収数			回収率	
		男	女	不明		
合計	1,671	1,630	835	794	1	97.5
小学校5年生	817	809	393	415	1	99.0
中学校2年生	854	821	442	379	0	96.1

4 回答結果

結果の概要は次のとおり。

問2 今、あなたががんばっていること、力を入れていることについてあてはまるものすべてに○をつけてください。

- ・ 全体では「学校の行事、活動」が最も多く72.6%、次いで「勉強」66.7%である。
- ・ 小学校5年生では「勉強」が最も多く67.1%、次いで「地域のスポーツ活動、ならいごと」66.7%である。
- ・ 中学校2年生では「学校の行事、活動」が最も多く82.1%、次いで「勉強」66.4%である。

問3 あなたは、毎日楽しいですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- ・ 全体では「とても楽しい」が最も多く39.8%、次いで「楽しい」28.9%である。
- ・ 小学校5年生と中学校2年生のどちらも「とても楽しい」が最も多く、同様の傾向がみられる。
- ・ 「とても楽しい」「楽しい」「つらいときもあるけれど、どちらかといえば楽しい」の合計の割合は、小学校5年生(93.4%)と中学校2年生(93.4%)のどちらも9割以上となっている。

問3-1 問3でエ、オ、カに○をつけた人に聞きます。あなたがつらいと思うことは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- ・全体では「友だちや先輩とのこと」が最も多く52.5%、次いで「勉強のこと」47.5%である。
- ・小学校5年生では「友だちや先輩とのこと」が最も多く60.4%、次いで「勉強のこと」43.8%である。
- ・中学校2年生では「学校のクラブ活動や部活のこと」が最も多く56.6%、次いで「勉強のこと」50.9%である。

問4 あなたを大切だと思っている人はだれだと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- ・全体では「家族」が最も多く93.9%、次いで「友だち」79.8%である。
- ・小学校5年生と中学校2年生のどちらも「家族」が最も多く、次いで「友だち」、「学校の先生」である。

問4-3 問4でオに○をつけた人に聞きます。あなたが大切だと思ってほしい人はだれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- ・全体では「友だち」が最も多く68.4%、次いで「家族」57.9%である。

問5 学校は楽しいですか？ あてはまるもの1つに○をつけてください。

- ・全体では「楽しい」が最も多く57.1%、次いで「どちらかといえば楽しい」33.1%である。
- ・小学校5年生と中学校2年生のどちらも「楽しい」が最も多く、同様の傾向がみられる。
- ・「楽しい」「どちらかといえば楽しい」の合計の割合は、小学校5年生(89.2%)と中学校2年生(91.1%)で約9割となっている。

問6 あなたは、この1年間に地域のどんな行事に参加しましたか？あてはまるものすべてに○をつけてください。

- ・全体では「地区のお祭り」が最も多く52.5%、次いで「公民館祭り、地区の文化祭」29.2%、「児童クラブの行事」29.0%である。
- ・小学校5年生では「地区のお祭り」が最も多く65.1%、次いで「児童クラブの行事」46.8%である。
- ・中学校2年生では「地区のお祭り」が最も多く54.4%、次いで「参加したことがない」31.4%である。

問7 地域のみなさんは、あなたが元気にくらせるように、いろいろな活動をしています。あなたが、地域のみなさんに望むことについて、あてはまるものを2つまで○をつけてください。

- ・全体では「困っている子どもを見かけたときの声かけや手助け」が最も多く37.4%、次いで「祭りや地域づくりのための活動を一緒にすること」35.2%、「悪いことをしている子どもを見かけたときの注意や指導」30.9%である。
- ・小学校5年生と中学校2年生のどちらも「困っている子どもを見かけたときの声かけや手助け」が最も多く、ほぼ同様の傾向がみられる。

問8 あなたは、不安や悩みがあるときに相談できる人はいますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- ・全体では「いる」が最も多く83.6%、次いで「わからない」11.8%である。
- ・小学校5年生と中学校2年生のどちらも「いる」が最も多く、約8割となっている。
- ・「いない」と答える割合は小学校5年生5.9%、中学校2年生1.1%で、小学校5年生のほうが高い。

問8-1 問8でアに○をつけた人に聞きます。相談できる人はだれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- ・全体では「家族」が最も多く88.3%、次いで「友だち」79.0%、「学校の先生」51.5%である。
- ・小学校5年生と中学校2年生のどちらも「家族」が最も多く、次いで「友だち」であるが、中学校2年生は「家族」と「友だち」の割合がほぼ同じである。

問9 射水市では、なやみごとや心配なことを聞いてくれる、子どものための相談窓口を置いています。あなたが知っているものすべてに○をつけてください。

- ・全体では「学校」が最も多く63.6%、次いで「子どもの悩み総合相談室」41.7%である。
- ・小学校5年生と中学校2年生のどちらも「学校」が最も多く、次いで「子どもの悩み総合相談室」である。
- ・「知っているものはない」の割合をみると、中学校2年生(10.5%)は、小学校5年生(22.7%)の約2分の1となっている。

問10 あなたは子どものための相談窓口を利用したことがありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- ・全体では「ある」が2.9%、「ない」が95.1%である。
- ・小学校5年生と中学校2年生のどちらも「ない」が最も多く、9割を超えている。

問10-1 問10でイに○をつけた人に聞きます。あなたが相談窓口を利用しないのはなぜですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- ・全体では「相談窓口を利用するほどのなやみや不安がないから」が最も多く69.5%、次いで「家族や友だちなどほかに相談できる人がいるから」が52.9%である。
- ・小学校5年生と中学校2年生のどちらも「相談窓口を利用するほどのなやみや不安がないから」が最も多く、ほぼ同様の傾向がみられる。

問11 あなたは、自分が思ったことや自分がやってみたいという気持ちを伝える(言う)ことができますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- ・ 全体では「だいたい是可以る」が最も多く46.5%、次いで「できる」38.3%である。
- ・ 小学校5年生と中学校2年生のどちらも「だいたい是可以る」が最も多く、次いで「できる」であり、その合計の割合はどちらも8割以上となっている。

問12 あなたは、自分がいやなことやしてほしくない気持ちを伝える(言う)ことができますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- ・ 全体では「できる」が最も多く44.2%、次いで「だいたい是可以る」42.0%である。
- ・ 小学校5年生と中学校2年生のどちらも「できる」が最も多く、次いで「だいたい是可以る」であり、その合計の割合はどちらも8割以上となっている。

問13 射水市子ども条例について知っていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- ・ 全体では「知らない」が最も多く38.8%、次いで「聞いたことはあるが、意味はわからない」36.8%である。
- ・ 小学校5年生では「知らない」が最も多く47.2%、次いで「聞いたことはあるが、意味はわからない」28.6%である。
- ・ 中学校2年生では「聞いたことはあるが、意味はわからない」が最も多く44.9%、次いで「知らない」30.6%である。

問14 あなたは、子どもの権利について知っていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- ・ 全体では「知らない」が最も多く39.0%、次いで「聞いたことはあるが、意味はわからない」30.1%である。
- ・ 小学校5年生では「知らない」が最も多く44.3%、次いで「知っている」27.4%である。
- ・ 中学校2年生では「聞いたことはあるが、意味はわからない」が最も多く34.6%、次いで「知らない」33.9%である。